



市民が飛び入り参加したファッションショー



忍者になりきって遊ぶ子どもたち

国際市民フェスティバル・子ども会まつり 異文化交流を楽しむ

10/1

外国人と市民との友好を深めてもらおうと「国際市民フェスティバル」が国際文化会館で開催されました。ステージでは、世界の踊りや、各国の色鮮やかな民族衣装のファッションショーなどが行われました。屋外では、世界の料理の模擬店が立ち並び、来場者でにぎわっていました。また「子ども会まつり」も同時開催され、子どもから大人まで多くの方がベーゴマや輪投げ、ストラックアウトなどを楽しみました。



揺れるパンに悪戦苦闘

成田スポーツフェスティバル 今年は屋内で開催

10/7

体育の日を前に市民にスポーツに親しんでもらおうと、毎年開催されている「成田スポーツフェスティバル」。今年は雨天のため、綱引き、玉入れ、長縄の8の字跳び、成田ソラあんぱん食い競走といった一部の種目のみが市体育館で行われました。青空の下ではいかなかったものの、地域や学校、職場の仲間などで結成された多くのチームが参加し、優勝を目指して奮闘しました。



友人らと8の字跳びに挑戦



同じ大きさに丸めよう

月見だんごをつくろう

子どもたちが丹精込めて

9/30

中秋の名月を前に「月見だんごをつくろう」が中央公民館調理室で行われました。米から出来た粉に水を少しずつ足してこね、丸めて熱湯でゆでると団子の出来上がり。子どもたちはそれに、みたらしあん、あんこ、ごまだれなどを付けて食べました。参加した子どもは「おばあちゃんが作っているのを見たことがあるけど、自分で作ったのは初めて。とてもおいしい」とうれしそうに話していました。

市民文化祭・将棋大会

相手の手の内を読む

10/8

市民の皆さんが日頃の文化芸術活動の成果を披露する「市民文化祭」。この日は62人が参加して将棋大会が行われました。その中には小学生の姿も。三段以上のAクラスとそれ以下のBクラスに分かれて、5対局の結果で順位を決定しました。参加者は自分の実力を試すとともに、将棋を通して愛好者同士の交流を深めていました。



小学生も大会に参加



講師の手つきに見入る参加者

お魚教室

プロがさばき方を伝授

10/11

市場で働く鮮魚のプロから魚のさばき方、おろし方などを学ぶ「お魚教室」が成田市場で行われました。今回挑戦したのはイカ・アジ・カツオの刺身です。まずは講師がさばき方のコツなどを教えながら実演し、その後参加者が挑戦。刺身が出来ると参加者全員で試食し、新鮮な海の幸を味わいました。参加者の一人は「酒のつまみにするため、今度家で魚を一からさばいてみようと思います」と話していました。

中郷地区の自然と歴史散策

雨にも負けず「郷」を巡る

10/14

中郷地区についてより深く知ってもらおうと「中郷地区の自然と歴史散策」が行われ、市内外から19人が参加しました。今回は下金山区りゅうごんの龍金寺や下金山城跡、和田区の十王尊堂、切り通し開通記念碑など、計13カ所を歩いて巡りました。この日はあいにくの雨でしたが、参加者はそれを気にもしないほど、同地区出身である講師の解説を熱心に聞いていました。



道中も地区の歴史を解説